

執行部

ブロック・支部集会 報告書

作成者	田中 篤
ブロック・支部名	西日本 九州
主催者	平見 勇雄

表題の件、支部集会を実施しましたので、下記のとおり報告いたします。

(1)実施月日： 2013年3月23日

(2)場所： 博多グリーンホテル2号館 2階

(3)参加者：山本直次、熊地結子、大河正治、北崎暁彦、安藤祥英、中村貴之、石井和則、
茶川昌宏、土田隆介、堀江一宏、三好衛、濱村進、斉田直之、後藤秀明
岡 俊朗 西川和宏、田中 篤

(4)議題

9期の活動報告
10期の活動指針(案)
ワークショップ

(5)会議内容：

◆第9期の活動報告

◆第10期 活動方針(案)

4つの指針

- ① ワークライフバランスの最適化
- ② 高年齢者雇用安定法改正の対応
- ③ ユニオン組織の成長を目指した連携強化と人材育成
- ④ フード連合活動の積極的な参画と連携強化

上記の4つの指針の中から特に主だった下記についてについて指針の内容説明
(超過勤務是正、有給取率の向上、メンタルヘルスケアの充実、高年齢者再雇用、
組合費改定、組合活動セミナー)

◇有給取得率については、今期 NS として付与日数の 60%を目標とする。
ただし、成果主義と有給休暇の取得はリンクしにくい

◇勤務時間調査結果報告

◆組合活動セミナー

組合の活動の過去の成果については、代表的な事例を強調した方が、
全員の理解を得やすいのではないかとの意見あり。
今期は入会促進というよりも組合間のラインコミュニケーションの強化を図る。

◆第10期以降の予算案について

5年後、10年後の安定した組合活動を維持するために組合費の値上げについて

ワークショップ議題（1）

- ① 第10期以降の予算案（組合費回答）についてご理解いただけただけでしょうか？
- ② 本件の内容を今後如何にして地域の円組合員に漏れなくコミュニケーションをとる方法。
（誰が、いつ、だれに、どのように、タイミング）

①の議題については、参加者は理解。

- ②－支部長が営業所会議で説明する。 非組合員 ASV の場合（他の会議室を借りて説明）
- －今回の参加者が TMR に伝える場合、背景や、内容など簡易的なハンドブックが必要。
- －ユニオンホームページに掲載する。

質問事項

内部留保金に関する質問

闘争費用はいくらを想定しているか

ストライキに対し、一人1万円。しかし実際実施すれば、資金的にはパンクする。

ワークショップ（2）資材の供給過多有無

新製品発売時の資材について（資材の供給過多の有無）

- －新製品の納品資材材料については、問題はないが、納品される資材によっては、箱が大き過ぎる事もあり、出来る限り箱を小さくして欲しいとの要望あり。

① 追加アクティビティに対する資材

- －ASV 裁量の追加資材を発注する場合、的確なタイミングと数量を発注する事で、供給過多を回避する事が可能

他の意見

ウイングロードが狭い

納品される BOX の形状が大きい（小さいものでも、箱が大きい）

3週間の留め置きが短い（ヤマトと留め置きのルールについて確認が必要）

(6) 執行部への質問・意見など

別紙にて報告

(7) 執行部コメント